

## 奈良県高校生議会の概要について

- 1 日 時 平成26年8月21日（木）9:30～17:00
- 2 場 所 奈良県議会
- 3 目 的 次世代を担う高校生が、知事及び県議会議員と、住みよく魅力ある奈良県づくりについて意見を交換することにより、奈良県政や県議会への理解と関心を高めること。
- 4 主 催 奈良県議会、奈良県、奈良県教育委員会
- 5 参 加 校 県立添上高等学校、智辯学園奈良カレッジ、奈良育英高等学校、関西中央高等学校、県立橿原高等学校、県立五條高等学校（質問順）
- 6 参加生徒 30人
- 7 日 程
  - ・オリエンテーション
  - ・「県議会の概要について」説明
  - ・高校生による議会運営委員会
  - ・議場リハーサル等
  - ・知事等との意見交換
  - ・県議会議員との意見交換会

【高校生議会の様子】



【知事等との記念撮影】



【県議会議員との記念撮影】

平成26年度高校生議会 質問項目及び提言テーマ一覧

学校名	質問項目	提言テーマ
奈良県立添上高等学校	児童期における豊かな遊びの体験について	スポーツとともにある奈良の街づくり
	子ども達の基礎体力の低下について	
	県民のスポーツに対する関心について	
智辯学園奈良カレッジ	観光の広報活動について	奈良の魅力ある仏教文化を利用した観光産業の振興
	伝統工芸の後継者育成について	
	県内で提供できる消費の楽しみについて	
奈良育英高等学校	奈良らしい歴史文化を核とした地域活性化について	地域一体型の学校づくり
	生活者や来県者の視点に立ったまちづくりについて	
	「民間の活動」との連携について	
関西中央高等学校	経済の活性化、暮らしの向上を図るための交通環境について	奈良県にJRの環状線を
	鉄道駅を中心とした商業集積について	
	商店街や個人商店の活性化について	
奈良県立橿原高等学校	奈良県の女性の雇用促進について	「大仏開眼1300年祭」を目標に、古き良き町づくりと奈良の歴史に特化したイベントによる観光客の誘致
	勉強好きの子どもを増やす取組について	
	「家族団らん」を取り戻すことについて	
奈良県立五條高等学校	観光リピーターを増やすための長期滞在型観光プランについて	県内観光地ごととレンタ・サイクル・エリリア設定による、CO <sub>2</sub> 削減と観光振興を
	大規模災害発生時の県外からの避難者受入れについて	

## ○主な質問項目及び提言

### ◇質問項目のうち教育長答弁に係るもの

#### 子ども達の基礎体力の低下について

(質問者: 添上高校: 森末議員)

##### (質問要旨)

奈良県下の子ども達の基礎体力の低下の現状や課題をどのような方法によって改善しようと考えているのか。

##### (答 弁)

・平成20年度の全国調査で、本県の児童生徒の体力が低位にあることが判明し、県教育委員会では体力向上に向けた取組を行っています。その1つとして、小学校では、平成21年度から運動場芝生化に取り組み、芝生化校15校の体力についてを分析したところ、けがを心配せず積極的に外遊びを楽しむ児童が増加し、特に走力の著しい向上が認められています。

・平成24年度から、夏休みにスポーツに親しむ期間を設け、添上高校にも協力をいただきながら、小学生が水泳や体操など様々な運動の特性に触れ、その楽しさが体感できるイベントなどを開催しています。

・中学校においては、今年度から4市町村をモデルに、総合型地域スポーツクラブとの連携事業の一つとして、運動部活動の活性化に取り組んでいます。

・今後、県教育委員会では、外遊びの環境を整えるため、小学校の運動場芝生化を促進するとともに、総合型地域スポーツクラブと学校との連携を拡充し、児童生徒の体力向上に努めて参ります。

#### 勉強好きの子どもを増やす取組について

(質問者: 橿原高校: 小島議員)

##### (質問要旨)

奈良県では今後勉強好きの子どもを増やす取組について、どのように考えているのか。

##### (答 弁)

・教員が授業において、知る喜び、分かる喜びを十分に味わえるような授業を行うことで子どもの学ぶ意欲を引き出し、さらに、子どもの内発的な動機付けを大切にする学習環境を整えると、子どもは学ぶ意欲が高まり勉強が好きになると考えています。

・県教育委員会では、小学校で特に子どもがつまづきやすい分野について、興味・関心がわき、分かりやすく、意欲の出る授業モデルの動画と授業で使えるワークシートを、今年度中に全教員が利用できるよう作成いたします。

また、放課後や休日を活用して、子どもが自主的・自発的に学習できる放課後子ども教室推進事業を実施しています。この教室では、地域の方や専門家を招き、昔話や身近な歴史、また、科学教室等の学習に多くの小・中学校で取り組んでいます。

さらに、本年度から開校した県立青翔中学校では、理数を学ぶ意欲が中学校で大きく低下しているという課題の解決を目指しています。実験・観察等の体験的な学習を多く取り入れ、土曜日等に授業公開するなど、中学生の科学的な好奇心や探究心を育む、そんな取組となるよう進めてまいります。

・これらの取組を、気持ちを込めて充実させ、本県で学んだ子どもたちが、ますます勉強好きになり、生涯学び続ける自立した社会人へと成長してくれることを心から願っています。

## ◇質問項目のうち知事答弁に係るもの

### 「家族団らん」を取り戻すことについて

(質問者:五條高校:中村議員)

#### (質問要旨)

親子がコミュニケーションを十分取ることができる「家族団らん」の機会を増やすため、本県では現在、どのような施策を行っているのか。

#### (答 弁)

・「家族の団らん」は、大変重要なことであり、議員に全く同感です。「家族の団らん」に対して、県がどのようなことができるのかということについては、なかなか難しいご質問、という印象があります。家庭は教育の場であり、子どもにとっては家庭こそが教育の場、また、学校以外に家庭と地域の3つが教育の場、というのは正しい認識だと考えます。

・私の昔の経験では、家庭は忙しかったが、祖母が発するつぶやきに教育効果があったと思います。今はテレビのつぶやきが多くて、教育的効果は少ないように思います。祖母の言葉は今も頭の中に残っています。「天はいつも見ている。陰日向なくお努めなさい。」「学校を出ても試験、試練はあるよ。心して学校で教育を受け卒業なさい。」という言葉、生涯忘れずに覚えているので、披露させていただきます。

・現在の家庭の環境は、父母ともに忙しく疲れていて、また、テレビやゲームがあり、それぞれの関わりが忙しく対話が少ないというのが家族の実情です。近所に出かけて遊んだという経験もありましたが、最近では近所に出かけて遊ぶということも難しい状況です。家庭の環境をどのようによくするのか、家族の問題が発生したときには、いろいろ相談を受けたりする訳ですが、いい家庭を築くための地域のカルチャーや環境をどのように整えるのか、大変深い重要な課題を指摘いただいたと考えています。

・県では、2年前から「地域教育力サミット」という検討のための会議をしています。教育には、学校以外に家庭と地域の助力が必要だという観点からの検討です。十分な検討の成果はでていませんが、議員の考えに沿った、家庭を含めた地域教育力の強化の道筋について、どのように県あるいは市町村が役に立つ環境整備ができるか検討を深めていきたいと考えています。

## ◇提言のうち教育委員会に特に関係するもの

### 地域一体型の学校づくり

(質問者:奈良育英高校:平家議員)

#### (提言要旨)

地域と学校とのつながりをもっと強いものにしていくために二つ、提案させていただきます。

一つめは、私達の学校の生徒と、地域の方々と定期的に話し合う場を設け、そこで地域と学校とがお互いの情報を共有し、話し合った情報を学校のホームページだけでなく、奈良県などのホームページに掲載するという事です。お互いの情報を載せることで、学校または地域の現状が分かり、また、学校が生徒だけの拠点ではなく、地域全体の拠点ともなると考えます。このことによって、地域の方々にも学校に対する理解を深めてもらえると思います。

二つめは、各地域において市町村と学校の共催イベントを開催することです。例えば、地域の方々や歩道などに花を植えたり、植樹するのはどうでしょうか。生徒・教師と地域の方々が同じ目的をもって活動することによって、学校から、地域からという複数の視点で自分達の街を見ることができると考えます。そして、地域と学校とのつながりも強まるはずですよ。

最後に、地域の活性化のためには、私たちの学校が、地域に貢献できる学校として成長することが大事であると考えます。今後、地域の方々のご意見を参考にしながら、学校と地域の距離を縮めることができれば、奈良県の各地域に活気がみなぎるようになると思います。